



避難のために考えておきましょう

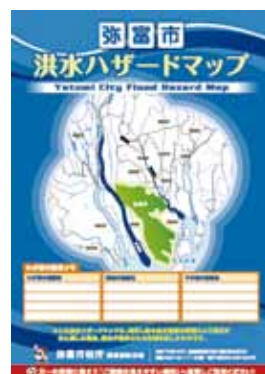
◎自主避難

自主避難に関しては、原則、飲料水、食料品、日用品、寝具などの提供を行いません。各自の判断で食料、飲料水、携帯ラジオ、着替えなど、最低限の必要品を用意して避難してください。



各種ハザードマップを確認しておきましょう

災害の種類別でハザードマップを作成し、全戸配布しております。各種災害の危険性を確認し、災害が発生した場合の対応をご家族で話し合っておきましょう。またYouTubeでハザードマップの解説をしていますので、二次元コードからご利用ください。



ハザードマップ
～洪水編～



ハザードマップ
～高潮編～



ハザードマップ
～浸水津波編～

ハザードマップ
～浸水津波編②～

逃げ遅れゼロのための取り組み

川の水位が上昇するなど水害の危険性が高まった場合に備えて、自分自身が取べき避難行動を時系列で整理しておきましょう。

災害時における避難行動のチェックリストとして、また危険を認識するための資料として活用できます。事前に家族や地域で話し合い、適切な避難行動を取りましょう。



マイ・タイムラインを作成しましょう

マイ・タイムラインとは、台風の接近によって河川の水位上昇が予想される時などに、自分自身が取べき防災行動を時間ごとに整理した個人防災行動計画です。

台風を想定したタイムラインでは、台風が直撃する「3～2日前」「1日前」「半日前」「5～3時間前」など、時間ごとにどのような行動を取るかを整理します。



Step 1 洪水ハザードマップと避難場所、避難の合図となる情報を確認

避難指示などの避難情報や氾濫警戒情報など、どの情報が出たら避難を開始するか確認します。

Step 2 洪水発生前までに取るべき基本的行動を考える

今後の台風の動向や川の水位を調べ始める、非常持ち出しバッグをチェックする、避難しやすい服装に着替える、安全な所へ移動を始めるなどの基本的な行動とその順番を考えます。

Step 3 家族や家庭の特徴を加味する

車を持っている、祖父母と同居しているなど、自分の家庭にのみ当てはまる状況を確認し、自分たちに必要な行動を考えます。

Step 4 時間ごとに整理してタイムラインの完成

基本的行動と家族のために必要な行動を右記の時間ごとに並べます。

マイ・タイムライン作成例

緊急時避難場所など：○○小学校
住んでいる場所の浸水深：3m

- 警戒レベル1 台風が接近** (台風直撃 3日前)
テレビ、インターネットで台風の進路をチェックする
- 警戒レベル2 雨風が強くなる** (台風直撃 2日前)
付近の川の上流の雨量を調べる
- 川の水位が上昇** (台風直撃 1日前)
付近の川の水位を調べる
- 川の上流から水が集まる** (台風直撃 半日前)
避難するときに持っていくものを準備する
- 警戒レベル3 河川敷やグラウンドが浸水** (はん濫 5時間前)
避難しやすい服装に着替える
高齢者などが避難する
- 警戒レベル4 川があふれそうになる** (はん濫 3時間前)
全員安全な場所に避難する
- 警戒レベル5 氾濫発生** (はん濫 発生)
避難完了

※右記は、マイ・タイムライン作成例です。

国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」
(<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/>)
からも、手軽にタイムラインを作成することができます。

